

みんなと文化をいっしょに楽しもうよ

民映研の 映画を みんなで見よう会!

6月18日(金)
19:00~
in 古民家 Hibicore
ヒビコシ
(津市美里町)
上映料 1500円

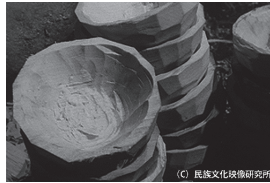
19:00~21:00 映画上映 / 2本立
21:00~22:00 交流会 (自由参加)

6月 福島県の山の民俗文化

東北の豊かな山が「育んできた手じごとと生きる知恵。」

・奥会津の木地師 (55分)

日本列島には、ほんの数十年前まで移動性の生活をする人々が各地にいた。奥会津の山から山へ移動して椀などを作っていた木地師たちもその一人。



(C) 民俗文化映像研究所

彼らはまず山中に笹で「木地屋敷」を作る。囲炉裏のある座敷とフイゴやロク口を置く広い土間をしつらえ、谷から木も引いて来る。完成すると山の神を祀る。こういった儀礼は作業の要所で行われる。男たちはブナを倒してその場で椀の荒型を作り、女たちが荒型を木地屋敷に運び大まかな椀の形を削り出す。男たちが手引きロク口で椀に仕上げ、できた椀は馬に乗せて町へ運ばれていく……。この映像は昭和初期まで実際にこの生活をしてきた木地師たちによる再現で、1976年の記録。



(C) 民俗文化映像研究所

・奥茂庭 摺上川の流れとともに〜 (52分)

福島市北部を流れる摺上川上流域

に点在する茂庭の集落。ここは平安末期〜鎌倉初期の記録も残る、古くから人が住まいした地域。しかし、上流の岩根・梨平・名号の三集落は市営ダム(摺上川ダム)建設計画によって移住を余儀なくされた。摺上川の流れとともに年月を刻み、蚕を飼い、炭を焼き、シナガを織って、山に営々と生きてきた茂庭の人たちの、四季に対応した生活を追った。

摺上川ダムは1971年に建設計画が出され、1994年に工事がスタート、2006年に完成するまで35年にわたった。こちらはダム建設のため移転を迫られているさなかの1989年の記録。

主催 おぼん with しゃり (庶民活動センター)

※上映内容の問合せ、ご予約

shomin@emix-express.com

お電話の場合は090-3444-3327(さとう)

または090-1722-5764(松本)まで

<http://shomin.emix-express.com>

会場 古民家 Hibicore

津市美里町三郷369番地 TEL 059-279-3703

(または090-8459-7026 松原由貴子まで)

※駐車場は順次ご案内します。まずはヒビコシまでお越しください。

<http://www.hibicore.com>

ご予約・お問合せ

【民映研の映画を一緒に見ませんか?】

日本というこの土地で、人々は豊かな恵みをもたらし、しかし時に脅威となる自然に対応・共生する生きかたを長い年月をかけて構築してきました。自然への深い理解から成るこの知恵や文化は「現代には不要」と淘汰されるものではなく、むしろ「持続可能な暮らしかた」として今こそ見直すべき財産ではないでしょうか。

民俗文化映像研究所は、日本各地に残る生活文化を映像で記録・研究する民間機関。丁寧な取材に裏打ちされた貴重な映像記録を多数所有しており、貸出などを通してこれら「基層文化」のよりよい展開・開花を支援しています。

少人数で見るにはなかなか気軽なシタルも難しいため、多くのかたに「こういう機会があれば、また見たい」と興味を持っていただけたら、上映の機会が作れるので、嬉しいです。

【民映研サイト】

<http://www31.ocn.ne.jp/~minneiken/>

次回上映 シシムリカのほとりびー
— 匠文化伝承の記録 —

▲7/26(金) 同じくヒビコシにて上映予定!

